

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
井邊 宜之	男	70	農業	S53.4～R7.12 R4.4～	紀陽銀行にて相続事務担当 井辺地区自治会長	水稻	86	非該当	家業である農業は、代々、米を中心に営んできた。私は昨年までは、銀行に勤めながら兼業にて約50年間作り続けてきた。今年から勤めを辞め、本格的な農業経営に取り組む予定。高齢化による農地の耕作放棄地増加、またその相続による宅地化による緑地、農地の減少を見るにつけ、農業委員の職責を続けて、新しい担い手を掘り起こしていきたいと心から思い、応募いたしました。
曾根光彦	男	78	農業	H22.4～ H26.4～ H31.4～ R2.4～ H26.7～	農業近代化推進委員 南地区 JAわかやま岡崎地区協力委員長 農業共済組合岡崎地区 岡崎地区連合自治会長 農業委員会委員	水稻	30	該当	平成26年7月から約12年間農業委員として、地域での活動を行っておりますが、近年全国的な傾向として高齢化が進み、担い手不足等問題になっている中、耕作放棄地も見受けられるようになり、今後も、地区推進委員と共に放棄地をなくす取り組みを行っていききたい。同時に新規就農者の掘り起こしに力を入れ、農地の確保に努めていききたい。また、農地違反転用防止のため、日頃のパトロール強化を進めていききたい。今回も農業問題解決のため少しでもお役にたてればと思い、農業委員に応募いたしました。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
山本茂樹	男	74	農業	H5.10～H21.4 H10.12～R7.12 H14.4～ H17.8～H29.3 H17.7～ H26.7～H29.7 H29.7～	わかやま農業協同組合総代 安原地区民生委員・児童委員協議会会長 わかやま農業協同組合協力委員 安原地区 安原地区農業近代化推進委員 農業委員会委員 農業委員会 農政問題調査研究小委員会委員長 農業委員会副会長	水稲 その他	33	該当	家業の農業を継いでから52年、近年は稲作を中心にブルーベリーやオリーブを栽培していますが、特にオリーブを経営としての研究に取り組んでいます。平成17年から農業近代化推進委員及び農業委員となり、21年間職責を続けてきました。近年、地域の農業者の高齢化や後継者不足による遊休農地の増加に懸念しています。これまでの経験を活かし、農地の最適利用や新規就農者の支援を通じて遊休農地の解消、地域計画の推進、しいては和歌山市の持続可能な農業の未来を築く一助となりたいと思い、引き続き農業委員に応募しました。
井口 健	男	78	農業	H20.3～ H25.4～ H29.9～R5.7 R5.7～	地方公務員定年退職 わかやま農業協同組合組合員 加入 和歌山市農地利用最適化推進委員 和歌山市農業委員会委員	露地野菜	1	非該当	現在の農地所有者は80歳前後と高齢化しており、後継者がいても農業離れの傾向にあり、慢性的に後継者不足となっています。また、農地の有効活用には農地所有者に対する活用可能な制度の情報発信などが大切と考えます。そのためには、6年間の推進委員、3年間の農業委員の経験を生かし、農業者の意向を早期に把握し、耕作放棄地の防止、解消を図りながら、継続的に戸別訪問を実施して、「使える状態で、使える人に農地を引き継ぎたい」との思いから応募しました。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
鳥崎 寛司	男	46	土地家屋 調査士	H23.1.11～ R7.4.1～	土地家屋調査士、事務所所長 和歌山商工会議所青年部 会長	—	—	非該当	私は土地家屋調査士として、日々土地の境界確定や登記業務に携わり、農地の権利関係や活用の現状を実務面から注視してまいりました。近年課題となっている所有者不明農地の解消や遊休農地の発生防止において、測量や不動産表示の専門知識は不可欠であると考えております。専門家としての知見を活かし、農地の最適化推進や適正な権利移動の審査に公正な立場から寄与し、地域農業の基盤整備に貢献したく応募いたしました。
丸山 勝	男	77	農業	S42.4 H21.3 H15.4～ H31.4～ R2.7.20～	和歌山県警察官 拝命 和歌山県警察官 定年退職 わかやま農協 協力委員 府中自治会長 和歌山市農業委員会委員	水稲 露地野菜	55	該当	・父母らが営んでいた農業を中学生の頃から手伝い、警察官を定年退職した後は農業に専念しており、近年では稲作や露地野菜(キャベツ等)を中心に新しい技術の導入や育成研究に力を注いでいます。 ・平成15年から、わかやま農協の協力委員を務めていますが、農業者の高齢化と担い手不足などにより農地の荒廃化が進んでいる事に懸念しています。 ・これまでの経験を生かして、農家の地位の向上を図るとともに、農地の貸し手や新規就農者など借り手の掘り起こしに尽力し、農地の荒廃化に歯止めをかけたいとの思いから、再度、農業委員に応募することといたしました。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
吉中 雅三	男	83	農業	S47.7～H2.7 H23.7～ S47.8～H29.3 H6.6～H15.6 H20.4～H26.3	和歌山市農業委員会委員 和歌山市農業委員会委員 西山東地区近代化推進委員長 わかやま農協理事・監事 吉礼水利組合長	水稲	253	該当	私は農業高校卒業後、家業である農業に65年間従事し、その間、水稲、みかん、タケノコ、柿、ぶどう等を栽培し、妻と共に長年農業経営を続けてきました。又その間、四Hクラブや和歌山市農業青年クラブの結成にも参加しました。又農業の視野を広げるべく和歌山県の事業の国内研修事業に参加し、四国、九州の農家に泊り研修もさせてもらいました。 応募する理由については、1点目は遊休農地や耕作放棄地の解消に取り組めます。2点目は農業者の老後の生活の安定のため農業者年金の加入促進に努めます。3点目は持続可能な農業経営を確立するには、農業後継者が必要です。農業後継者を育てるべく努力します。以上3点の理由で応募しました。
藤木 敬三	男	75	農業	R8.1～	福島農業組合長	水稲	55	該当	私は、幼い頃から父の手伝いで、長年農業に携わってきました。定年退職後は、農業に専念していますが、近年、農業の高齢化や担い手不足による農地の荒廃化が進んでいることに危機感を感じています。そのような中、農業委員を務めている知人から勧められ、これまでに私が農業を通じて得た経験や知識を活かし、農業に関する諸問題の解決の一助になりたいと思い応募致しました。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
中原 光	女	37	事務職	H30.5.16～	中原建設 経理	水稲 果樹	11	非該当	私は代々続くみかん農家に生まれ、現在は夫の経営する会社で事務に従事しながら、実家のみかん栽培の手伝い、自身でもアボカド栽培や休耕田を活用した米づくりに取り組んでおります。 農地は地域にとってかけがえのない資産であり、荒廃や転用により減少していく現状に強い危機感を抱いています。 気候の変化に応じた作物導入や休耕田の解消に挑戦してきた経験を活かし、農地を守り活かす仕組みづくりに貢献したいと考え、農業委員に応募いたしました。
小方 保寛	男	69	農業	S62.4～H31.3 R2.4～ R3.6～R7.3 R7.4～ R5.7～	和歌山毛見郵便局長 和歌山家庭裁判所家事調停委員 わかやま農業協同組合理事 和歌山県農業協同組合理事 和歌山市農業委員会委員	水稲 露地野菜 果樹	73	該当	・兼業農家の長男として生まれ、父と共に兼業で農業を行ってきましたが、サラリーマン退職後、本格的に農地に向き合うようになり、稲作だけでなく野菜の栽培もトライ中です。 ・和歌山市農業委員として1期つとめさせていただきましたが、地域のみなさまにも少しづつそのことが浸透し、相談や情報の提供をいただけるようになってきました。また、高齢で就農が難しくなった農地の営農も任されることもありました。 ・農業委員の職務に少し慣れてきたところであります。2期目はこれまでの経験がより生かして、和歌山市の農政の発展のためにお役に立てると考え、このたび謹んで応募させていただきます。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
湯川 徳弘	男	83	農業	H20.7～ S59.4～H29.3 R7.5～ R6.11～ R7.5～	和歌山市農業委員会委員 川永地区農業近代化推進委員会 会長 和歌山県農業協同組合わかやま地域本部地域運営委員長 六箇井土地改良区次席理事 紀の川土地改良区連合総括監事	水稲 露地野菜	93	該当	現在、当地域農業者の高齢化と担い手不足による問題が生じている。農業を維持してゆきたいと強い想いも、経済的な面等からやむを得ず離農する方々が増えている。 農地を効率的に維持管理してゆくためには、農家の理解と行政も含め問題点解決と地域全体の取組みが肝要である。今回も支援して下さる農家の方々から要請もあり、微力ながら当委員会に貢献させて頂きたく存じます。
遠藤 富士雄	男	78	市議会議員	H7.5 H9.6 H9.12 H10.10 H11.5 H11.10 H13.6 H17.6 H18.6 H19.5 H20.6 H27.6 H29.6 R元.5 R2.2 R2.11 R4.10 ※すべて就任年月	交通対策特別委員会副委員長 産業企業委員会副委員長 決算特別委員会副委員長 公営企業決算特別委員会副委員長 総務委員会委員長 公営企業決算特別委員会委員長 同和対策特別委員会委員長 和歌山市監査委員 副議長 議会運営委員会副委員長 議長 和歌山市農業委員会委員 議会運営委員会委員長 予算特別委員会副委員長 花山水系漏水に関する特別委員会委員長 IR誘致に関する特別委員会委員長 決算特別委員会委員長	—	—	非該当	私は、平成27年から1期、農業委員会委員としての職責を務め、農業にかかる諸問題に取り組んできましたが、近年は、さらに遊休農地問題や担い手不足等により、将来の優良農地や農業の担い手の確保は急務となっています。そのような厳しい状況の中で、私は、これまでの市議会議員の職歴を活かし、地域とともに諸問題の解決に向け、尽力していきたい。 また、毎月開催される農業委員会総会においては、公職の立場から公平・公正な判断に基づく意見を述べ、中立的な立場の委員として農業委員会業務に貢献していきたい。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
園内 浩樹	男	65	市議会議員	H23.9 H27.6 H29.6 R元.5 R元.10 R3.6 R3.6 R5.6 R6.6 ※すべて就任年月	決算特別委員会副委員長 厚生委員会副委員長 地震等災害対策特別委員会副委員長 建設企業委員会委員長 公営企業決算特別委員会委員長 総務委員会委員長 地震等災害対策特別委員会副委員長 和歌山市監査委員 副議長	—	—	非該当	私は、農地の荒廃が加速化する現在において、将来の農業の担い手の確保は急務であると感じています。そのような状況の中で、農業に関わる農林水産行政の在り方は、今後さらに重要なものとなると思います。私は、これまでの市議会議員の職歴を活かし、農業が抱える諸問題の解決に向け取り組んでいきたい。 また、中立委員として、農地の売買・貸借や農地転用等の議案の審議に関しては、公平・公正な立場で意見を述べていきたい。
岩橋 章博	男	72	農業	H22.4～H25.3 H27.4～ R2.7～ R2.10～	和歌山市農業委員会事務局長 和歌山県農業共済組合評価員 和歌山市農業委員会委員 わかやま県農業協同組合総代	水稲 露地野菜	144	該当	農業委員会事務局勤務を経験し、定年帰農後、専業農家として農業経営を続けています。 今日の農業の現状は、農家の高齢化、長年にわたる農産物価格の低迷等により担い手不足等がより深刻となっています。このような事態に対処するためには、新規就農者、農家子弟のUターン就農、定年帰農者などの多様な担い手の育成支援が特に必要だと考えます。 これまでの農業、農業委員経験を活かし、農地転用の厳格化は勿論の事、特に、担い手の育成・支援等に尽力いたしたく応募しました。

農業委員会の委員

【応募】

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者 該当・非該当	応募理由
				在職期間	職名・役職名等	営農類型	耕作面積 (a)		
西川 均	男	68	農業	S56.4～H29.6 H29.7～R5.6 H27.4～ R7.1～	和歌山県農業協同組合中央会 和歌山県農業協同組合連合会 山口西下地区自治会長 和歌山市農地利用最適化推進委員	水稻 露地野菜	111	該当	JA組織では、県内の農業振興に向け、担い手の育成・確保、優良農地の維持・確保、農業経営支援、農業政策等の対策に携わり、地元では、高齢化で離農が進む近傍の農地を維持するため、仲間とともに、貸借や農作業受託に取り組んできました。 しかし、地域農業全体を見ると、高齢化や後継者不足等により耕作放棄地が急増し、地域農業を維持できない厳しい状況が続き、耕す土地・人の確保が喫緊の課題となっています。 このような深刻な事態に対処するためには、新規就農者、農家子弟のUターン就農、定年帰農など多様な担い手の育成・支援・農地転用の厳格化を含めた優良農地確保対策の強化が必要だと考えています。組織や推進委員の経験を活かし、地域の推進委員との二人三脚で、人づくり・農地確保対策の強化に尽力したいと思い、今回、農業委員に応募しました。
貴志 年伸	男	61	農業	H13～H29 H21.4～ H24.4～ H29.9～ R3.4～ R5.4～	和歌山市農業近代化推進委員(名草地区) JAわかやま総代(内原代表) JAわかやま冬瓜部会長 和歌山市農地利用最適化推進委員 JAわかやま地域本部生産販売連絡協議会長 和歌山市農業青年クラブ副会長	水稻 露地野菜 施設野菜	95	該当	南西部地区で休耕地が多くなりつつ有り、少しでも減らすようにしたいと思います。周辺地域の農業事情に精通して、地域農家からの再任の声を活かし、農地の荒廃に歯止めをかけたいと思い応募しました。